

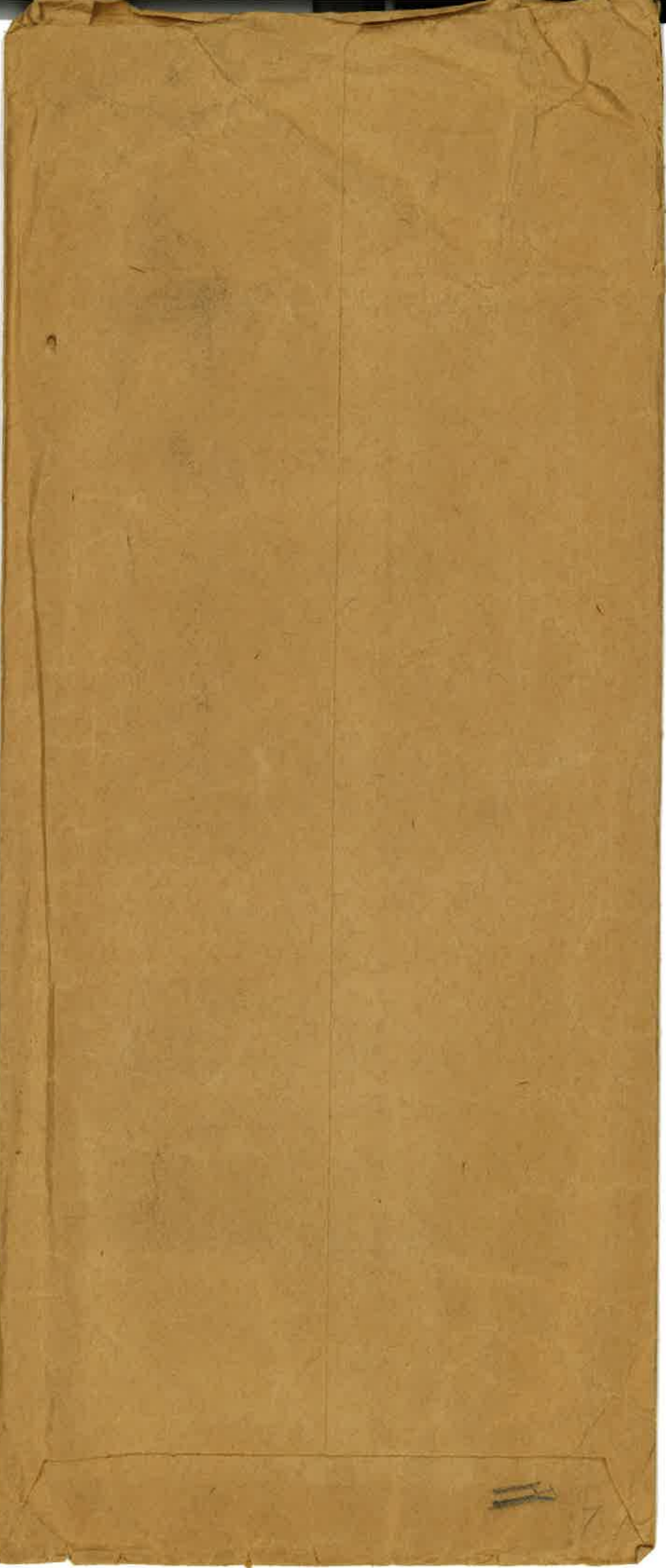


昭和四年三月十四日午後

七時廿五分東京放送

局放送
市會議員選舉

二月廿
東京市民公告



親愛なる市民諸君、
市會議員の選挙が
二日の後に迫つて参
りました。

私は此の機会に於て、
眞心^{マコロ}を以て市民諸
君に訴へ、市民
諸君と共に考へ
たいのであります。

凡そ議員の選挙は、

凡そ議員の選挙は、

その種類が何であら

うとも、又その時

期が何時ツであらうとも、

決して輕々しく取

扱ふべきものでない

ことは申すまでも

ありませんが、就中

今日の市會議員選挙ハ、

甚くも東京市民に

とつては、全く前例が

ないと言つてもよい

立憲政治の原則を引くには、
先づこの選挙の意義を
よく理解する必要がある。

ないと言つてもよい

位いかにみみに、影いかり響ひび音おとの大おほきき

選挙せんぎょであります。

即ち、夫れは何ナニで

あるかと申ししますと、

東京市政が濁にごつた

まゝで進むか、夫れを

淨きよく建て直なおすことが

出来るか否いなかを

定める峠とうげであり、

言いひ換かへれば、東

京市政を生なかすが、

殺ころすかの境かぎへ目めこ

京市政を生かすか、
殺すかの境へ目に
立つて居るのが、

今度の選挙で

ありまして、東京市

始まつて以来、これ

程意義の重大な

選挙は、未だ曾て

前例のないことで

あります。

東京各新市は、市政の浄化と叫ぶが、
元來市政の浄化、

其の功徳に依りてこそ大なる意義あり

即ち市政を清く

正しきものにするには、

即ち市政を清く

正しきものにするには、

何と申ししても、

市會といふ市の原

動力を清く正しき、

ものにすることが第一

に肝要であります。

市會を組織するに必要の資金を確保するに当り

市會といふ原動力が

しつかりしておれば、

市の行政は全體が

旨く行くわけであります。

故に今日、市政の

故に今日、市政の
浄化といへば、つまり
立派な市會を作る
といふことに外なら
ないであります。

市民諸君！

この重大な意義を
持つてゐる新市會を、

上等なものに作り

上げるか、下等な

ものに作り上げるかを

決すべき日が、二日の

後、二日、三日をもちます。

決すべき日が二日の

後ゴに迫つて来ります。

又東京の名譽も係りて、實に二日の後、
此の通りである。
として、之をどちらに

するかは、實に我々

市民の持つ一票の

投票できまるので

あります。

市民諸君！

新市會を作り上げる

責任の全部は實に

我々市民にかつて

あるのであつて、市

あるのであつて、市
民以外には何物も
絶對無關係であ
ります。市民は實に
この点に十二分に
及省せなければ
ならぬといつてあります。
市民諸君！
若し我々市民が
この点に十分の及
省セを加へることが出
來るならば、市政の

來るならば、市政の
淨化は實に容易に
實現するてありませう。
即ち何等手数の
かゝる事柄ではあり

ません。諸君が

十六日に投票所に
行かれ、投票用紙に

神聖に扱ふべきものである

候補者の氏名を

書く時の、その瞬

間に萬事が決する

のであります。實に

のであります。實に
一分間足らずの間に、
東京市政を生かすか
殺すかが定まるので
あります。

市民諸君！

私は諸君が此の大
切な瞬間に於て、

自己の正しき判断が
何物にも縛られず、

自己の良心がミチンも

自己をせめな、様に、

自己をせめない様に、
投票せられることを
信じ、且つ之を祈り
ます。現在立候補
してある二百何十名の
中から、^即自分の判断で
一番適當と考へる
人物に投票すること、
何人にも妨^{何物にも}けられ
たりません。この判断
を誤らず、この自由を
完全に守つて行くことは、

完全に守つて行くことは、

實に市民としての

義務であり、又

誇りであります。

市民諸君！

繰返して申し上げますが、

亂脈を極めた東

京市政を建て直す

第一番の役目は、

市民の勤める所で

あって、而かも第一

番にその役目を

番にその役目（神聖なる）を

勤める機会日は、

明後日（あした）であります。

一度び、この機会を

逸（が）して、市政浄化の

失敗者（しぱいしや）とならば、

我々市民に自治の

能力なれと罵ら

れても、辯明の餘

地が無いてありませう。

曾て英國ロンドンの

市政は、久しく浄

市政は、久しく淨
化の要求が叫ば
れて來つたのであり
ますが、市民の自
覺と協力が、遂に
その目的を達して、
市政を美しきものに
致しました。又
米國ニューヨークの
市政も長らくの間、
一部の不正なる團
體に左右されて
來つたが、市民の

體に左右されて
たつたが、市民の
奮發に依て、之を
改めることができました。
之等の顯著なる實
市政改革運動は、
例の外にも、多くの
市民の自覺見のみに
依つて、成功して
あります。
市民は斷じて何
物も頼タヨリりにしては
なりません。自分の

なりません。自分の
力のみが、市政改革の
御本尊であることを
十分に覺悟したい
のであります。

私は十六日の選挙
の結果に付て、

市民一同が満足の
本來るやう、お互
に自重せられん
ことを心から念
ずる次第であります。